

2025 年 8 月 5 日



会社名 株式会社 BTM
(コード：5247 東証グロース市場)

BTM AI エージェントシステム構築・導入によりシステム調査時間を 95%削減 ～革新的な取り組み事例として AWS 公式ブログにも掲載～

株式会社 BTM（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：田口 雅教、以下 BTM）は、かねてより開発を進めてまいりましたシステム調査工数削減の取り組みの一環として、このたび AWS の Amazon Bedrock（※1）および Strands Agents（※2）を活用し AI エージェントシステムを構築して、運用業務の効率化を実現いたしましたことをお知らせいたします。本取り組みは、AWS 公式ブログにも掲載されました。

今回の AI エージェントシステムの導入により、システム調査時に発生していた多大なコミュニケーションコストを 95%削減することに成功いたしました。これは、営業、アプリケーション、インフラストラクチャ、業務部門など、多岐にわたる関係者間の連携を大幅に効率化できた成果です。

背景

従来、多数のシステムを管理するシステム運用者がシステム調査を行う際には、営業チーム、アプリケーションチーム、インフラストラクチャチーム、業務部門など、多くの関係者との密な連携が不可欠であり、それに伴い多大なコミュニケーションコストが発生していました。

加えて、システム管理者や担当エンジニアが複数のプロジェクトやシステムを兼任するケースも多く、限られた時間の中でシステム調査に多くの工数を割くことが困難であるという制約が存在しました。従来のシステム調査には 1 時間から半日を要し、1 日に 5 件程度発生する調査依頼に対して、営業担当者からの詳細確認と書面での回答という、時間と手間を要するプロセスが必要とされていました。

導入効果

これらの課題を解決するため、BTM は生成 AI を活用したシステム調査の自動化に着目し、特に非エンジニアからの問い合わせに対し、生成 AI を用いて自動で調査する仕組みの構築を推進してまいりました。

このシステムの導入により、BTM は劇的な効果を達成いたしました。最も顕著な成果は、従来半日を要していたシステム調査時間を最短 10 分ほどに短縮できたことです。これにより、エンジニアはより本質的な開発業務に注力できるようになりました。さらに、関係者間で必要とされていた冗長なコミュニケーションが不要となることで、プロジェクトマネージャー（PM）のトラブルシューティング工数を 95%削減いたしました。

今後の展望

BTM は今後も AI エージェントシステムの構築を推進し、さらなる業務効率化に取り組んでまいります。また、今回の取り組みで培ったノウハウを活用し、他社への導入を積極的に進めていく方針です。

事例紹介

Amazon Web Services Japan 合同会社による公式ブログでの事例紹介

掲載 URL :

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/genai-case-study-btm/>

（※1）Amazon Bedrock : AWS が提供する生成 AI サービスで、企業が API を通じて様々な基盤モデル（FM: Foundation Model）を利用できるようにするフルマネージド型サービスです。これにより、開発者は様々な AI モデルを比較検討し、自社のニーズに最適なものを選択・活用して、生成 AI アプリケーションを効率的に構築できます。

（※2）Strands Agents : AWS が提供する、生成 AI を活用したエージェント構築を支援するサービスです。

【株式会社 BTM】

代 表 : 代表取締役社長兼 CEO 田口 雅教

設 立 : 2011 年 8 月

事業内容 : DX 推進事業

本 社 : 東京都渋谷区神泉町 9 番 1 号 Daiwa 渋谷神泉ビル 2 階

U R L : <https://www.b-tm.co.jp/>

「日本の全世代を活性化する」をミッションに掲げ、地方に眠る人財を活用した DX 推進事業を行っております。設立以来構築してきた全国の開発会社とのネットワークをデータベース化し各地の開発案件とのマッチングを行う IT エンジニアリングサービス、独自のノウハウで育成した「自律型フルスタックエンジニア」が開発を担う DX ソリューションサービスを運営しております。